

## 議会での声

議員から出た関連のある質問と市からの答弁を  
9月定例会と12月定例会から一部紹介します。

**問** クリーンセンターの厳しい状況から、市として、ごみ非常事態宣言を出す必要はないのか？

**答** ごみ非常事態宣言は、平成7年当時の処理施設のひっ迫状況や、新施設建設の見通しが立たなかったことなどから、ごみの減量と施設の延命化を図るために発出したものである。現在（令和3年9月）、非常事態宣言の必要性はないと考えている。



領家にある津山圏域クリーンセンター

**問** 現在のクリーンセンターは平成28年から本格稼働が始まり、今に至っているが、ごみ増大の原因は？

**答** 稼働以来、プラ容器包装や古紙類などの資源ごみが可燃ごみへ混入していることや、粗大ごみの増加が顕著になっている。また、プラ容器包装を洗わず可燃ごみとして出していたり、事業系可燃ごみへの段ボールの混入、コロナ禍における巣ごもり需要の影響、さらに世帯数の増加や生活スタイルの変化、分別意識の低下など複合的要因が考えられる。

**問** 事業者に対して、事業系ごみの減量化のお願いをしたようだが、そのほか、事業系ごみに対する対策は？

**答** ごみ搬入の際、組合が展開検査（※）を行い、不適物の有無を確認し、発見した場合には搬入業者に厳重指導をしているが、引き続き展開検査の頻度を上げるなど、組合と構成市町が協力して取り組む。



クリーンセンターの可燃ごみ貯留施設

**問** 学校給食の残食が年間平均約103トンで、それらを可燃ごみとして、焼却処分しているが、SDGsの観点からも、再生利用・再資源化に取り組むことはできないか？

**答** SDGsの観点からも再生利用・再資源化の重要性は認識している。

既に実施している他自治体の取組について、情報収集するなど、今後の課題としたい。

※展開検査・・・ごみ収集車で搬入された可燃ごみに不適合な廃棄物が混ざっていないかを確認する検査

## ごみの分別はできていますか？ ごみ減量化に向けて取り組みましょう

津山圏域資源循環施設組合（※）が運営する津山圏域クリーンセンターにおいて、可燃ごみの貯留施設の使用率が170%を超える状況となりました。令和3年7月9日には堆積ごみの一部崩落により、ごみの投入扉全てを塞ぐ事態が発生。このことで可燃ごみの一部を外部の処理施設に搬出して処理することとなりました。

9月定例会の議案説明会でこれらの説明を受け、12月定例会の一般会計補正予算第6次で、ごみ減量化に向けた関係予算が提案され可決しました。

### スリーアール ごみを減らす3Rを始めませんか

～みんなて循環型社会をめざしましょう～

#### リデュース Reduce 発生抑制

ごみになるものを減らしましょう

- マイバッグを持参し、レジ袋を断る。
- 中身を詰め替えてできる商品を買う。
- 過剰な包装や不要な包装は断る。
- 買いすぎないよう、要らないものは買わない。
- 作りすぎ、食べ残しを無くす。



#### リユース Reuse 再使用

繰り返し大切に使いましょう

- 容器に入ったものを買う時は、リターナブル（繰り返し使える）容器を優先して選ぶ。
- 要らなくなったものを人に譲る。フリーマーケットやリユースショップを活用する。



#### リサイクル Recycle 再生利用

再び資源として利用しましょう

- 新聞、雑誌、段ボールなどは、地域の集団（廃品）回収に出す。
- 缶、びん、ペットボトルは、決められた収集日に出す。
- スーパーなどの店頭回収を利用する。（トレイ、牛乳パックなど）



ごみを減らす3Rを知っていますか？（津山市ごみの分別・出し方ガイドブックより）

### ごみ出しルール 5箇条

- 1 指定ごみ袋に入れて出しましょう。（クリーンセンターへ直接持ち込む場合を除きます）
- 2 町内で決められた場所（ごみステーション）に出しましょう。
- 3 収集日の午前8時までにしましょう。
- 4 安全・衛生的に出しましょう。（スプレー缶・カセットコンロのガス缶・使い捨てライターは必ず中身を切り切る。刃物は紙に包むなど安全な工夫を。生ごみは水切りをする）
- 5 引越しごみなど多量のごみは、ごみステーションでは収集できません。クリーンセンターへ直接持ち込むか、許可業者に依頼しましょう。



#### こんな場合は収集できません

- 間違った種類のごみが出されている場合  
プラスチック容器包装の日に、不燃ごみが出されている場合など。
- 間違ったものが指定ごみ袋に混じっている場合  
プラスチック容器包装のごみ袋の中に、可燃ごみや不燃ごみが混じっている場合など。



正しいごみ出しを心がけましょう！（津山市ごみの分別・出し方ガイドブックより）

12月定例会に提案された関係予算の1つ目は、焼却処理能力を超えている可燃ごみを持ち出し処理するための費用に対する津山市の負担金として4,444万円、2つ目は、住民や事業者へのごみ減量化、リサイクル推進の啓発を行うための経費に400万円が計上されました。

リサイクル推進の啓発は、分別リサイクルを推進するテレビ番組の制作放送、事業系ごみの分別出し方ガイドブック配布、啓発看板作成、分別アプリの導入などが行われます。

※ 津山圏域資源循環施設組合・・・ごみ処理施設の維持管理・運営などに関する事務を津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、美咲町が共同で行うために設置した団体